

お米の命のリレー

本庄市立北泉小学校 五年
上野 優太

ぼくの元気のみなもとは、おじいちゃんが作っているお米を毎日食べていることだと思います。そのおかげで、今まで学校を休むことなく毎日登校することができています。

おじいちゃんは、ぼくの通う小学校の五年生に、米作りの授業をしています。今年はいよいよぼくの学年です。おじいちゃんに米作りを教えてもらえることを、とても楽しみにしていました。

おじいちゃんはぼくに、

「優太が五年生になるまでは元気で頑張るから、おうえんしてくれよな。」と言っていました。ぼくもおじいちゃんに米作りの授業をしてほしいと思っていたので、おうえんしていました。

おじいちゃんは授業の中で、米作りだけでなく、お米の大切さ・命の大切さも教えてくれます。ぼくたちが今年育てたイネは、今の六年生が五年生の時に大切に育てたイネを受けついで植えています。そうやって毎年毎年お米の命をつないでいるのです。なので、ぼくたちが育てているお米は、四年生にちゃんとつなげるように、大切に育てています。おじいちゃんはそうやって、毎年毎年お米の命をつなぐ、かんたんなようで大変なことを、ぼくたちのためにしてくれていたんだな。と感しやの気持ちでいっぱいです。それから、おじいちゃんは

「米作りの授業をすると、ふしぎと、お米だけでなく食べ物を大切にして、残さないようになるんだよなあ。ふしぎだよなあ。」とよく言います。

今までは、ごはんを残してしまっても気にしていなかったとしても、きつと一生けん命育てたお米は、ひとつぶひとつぶ大切にしないとならない。そまつにはいけない。命がつながっている。ということ、米作りの授業を通して、自然と学ばせてもらっているのかな。と思います。だから、みんなごはんを残さないようになるのだと思います。

それから、おいしいごはんを食べている時は、自然とみんなにこにこ笑顔になります。もしかしたら、おじいちゃんが作る米を食べると、食べ物を大切にし、元気に学校に通えて、笑顔になるまほうがかかっているのかな？と思います。

おじいちゃんはぼくたちの学校で、米作りの授業を二十三年しているけど、今まで元気で続けていたのは、おじいちゃんが作るお米を毎日食べているからなんだと思います。だから、これからもおじいちゃんには、元気で健康で米作りを続けてほしいと思います。